

# 技術と成果を 積極アピール



## 下水道展'09東京を開催



22回目を数える「下水道技術の祭典」下水道展が7月28日、東京・有明の東京ビッグサイトで開幕しました。ここ数年の厳しい経済情勢下でありながら、会場には310社・団体（1023小間）に及び出展企業らが4日間にわたり、時代を映す多彩な分野・業種の最新技術・機器をアピール。本機構ではこれまでの研究成果をパネルやリーフレットで積極的に来場者にPRしました。



## 新規2課題の実用化評価を開始

8月4日、今年度1回目の技術委員会を開きました。下部組織の水処理新技術実用化評価委員会では、今年度から新規2課題の実用化評価を行うことから、石川理事長が松井委員長に諮問するとともに、部門別共同研究（水処理、汚泥、新技術設計手法）の新規5、継続5課題について審議しました。



## 長寿命化に高い関心

第48回下水道新技術セミナーを8月19日に東京・発明会館で、9月2日には大阪リバーサイドホテルで開きました。テーマは「下水道長寿命化支援制度に関する手引き」。自治体や民間企業などから約250人が参集、同制度への関心の高さを伺わせました。



## 技術マニュアル活用講習会開催



本機構では、地方公共団体やコンサルタントなどの実務担当技術者が新技術を採用する際の客観的判断資料としてもらうことを目的に「技術マニュアル」を発刊しています。新技術の普及・活用に向け、10月16日に大阪で、11月4・5日に東京で「技術マニュアル活用講習会」を開き、民間企業との共同研究成果を発表しました。

## 事業報告会開く

10月26日、東京・渋谷区のアイビーホールで平成21年度の事業報告会を開きました。事業報告では本機構の事業のあらましをはじめ、研究1・2部、資源循環研究部がそれぞれの研究成果を紹介。特別講演は「水ビジネス・国際インフラシステムについて」と題し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構研究開発推進部長による興味深い講演が行われました。

